

DERWENT-ACC-NO: 1999-502106

DERWENT-WEEK: 199942

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Micro-film type medical card - has personal  
data  
recorded for visual reading and confidential  
medical  
information recorded for reading by mesoscope  
in  
micro-film, affixed on mount

PATENT-ASSIGNEE: YOCHI IGAKU SOGO KENKYUSHO KK[YOCHN]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0036607 (February 4, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 11216969 A	August 10, 1999	N/A
006 B42D 015/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 11216969A	N/A	1998JP-0036607
February 4, 1998		

INT-CL (IPC): A61B005/00, B42D015/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11216969A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A medical card (10) of a rectangular mount (12) preferably of the size length 80-95 mm and width 50-65 mm containing personal information in one of the readable languages, by the possessor by the naked eye, and other confidential medical information through mesoscope are recorded in micro-film (14) and affixed on the mount. The mount is laminated by a transparent cover sheet (16).

USE - Used during emergency for providing medical assistance to possessor of the card.

ADVANTAGE - During emergency, the medical card enables the medical staff to provide quick medical assistance to the possessor of the card. Even the confidential medical information recorded in the micro-film are read with mesoscope available in the ambulance, vital information such as mother tongue or languages known to the individual, blood group, allergic medicines and emergency communication tip are preferably furnished for reading with naked eye such that immediate help could be provided without loss of time.

DESCRIPTION

OF DRAWING(S) - The figure shows enlargement view of rear side of medical card.

(10) Medical card; (12) Rectangular mount; (14) Microfilm; (16) Cover sheet.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/4

TITLE-TERMS: MICRO FILM TYPE MEDICAL CARD PERSON DATA RECORD VISUAL READ

CONFIDE MEDICAL INFORMATION RECORD READ MICRO FILM AFFIX MOUNT

DERWENT-CLASS: P31 P76

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-375174

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-216969

(43)公開日 平成11年(1999) 8月10日

(51)Int.Cl.<sup>9</sup>

B 4 2 D 15/00

A 6 1 B 5/00

識別記号

3 3 1

F I

B 4 2 D 15/00

A 6 1 B 5/00

3 3 1 B

A

審査請求 未請求 請求項の数10 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平10-36607

(22)出願日 平成10年(1998) 2月4日

(71)出願人 393012013

株式会社予知医学総合研究所

東京都港区高輪 4-8-33 703

(72)発明者 福田 浩之

東京都品川区東品川 1丁目28番11号608

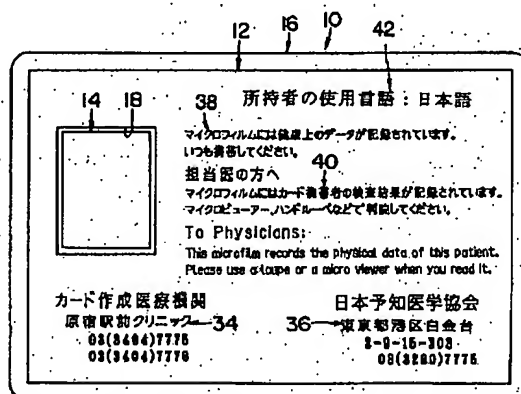
(74)代理人 弁理士 松永 宣行

(54)【発明の名称】 医療カード

(57)【要約】

【目的】 カードの所持者が使用言語を容易にかつ早期に判断することができるようにすることにある。

【解決手段】 医療カードは、カードの種類及び所持者の氏名が目視可能に記載された台紙と、前記所持者の医療情報が縮小して記録された、前記台紙に配置されたフィルムと、該フィルムを前記台紙に固定する固定手段とを含み、少なくとも1カ国語の所持者の使用言語が目視可能に前記台紙に記録されている。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 カードの種類及び所持者の氏名が目視可能に記載された台紙と、前記所持者の医療情報が縮小して記録された、前記台紙に配置されたフィルムと、該フィルムを前記台紙に固定する固定手段とを含み、少なくとも1カ国語の所持者の使用言語が目視可能に前記台紙に記録されている、医療カード。

【請求項2】 前記固定手段は、少なくとも前記フィルムを覆う透明シート製のカバーである、請求項1に記載の医療カード。

【請求項3】 前記固定手段は、前記台紙及び前記フィルムを包囲する透明シート製のカバーである、請求項1に記載の医療カード。

【請求項4】 50～60mmの幅と、80～95mmの長さとを有する長方形である、請求項1に記載の医療カード。

【請求項5】 前記台紙は長方形の開口部を有し、前記フィルムは前記開口部に配置されている、請求項1に記載の医療カード。

【請求項6】 前記フィルムに記録された前記医療情報は、当該カードの所持者の、血液型、健康診断の結果及び特記事項を含む、請求項1に記載の医療カード。

【請求項7】 前記フィルムには、さらに、前記所持者の、氏名、住所、生年月日、年齢、性別、体重、身長、健康保険証番号及び緊急連絡先から選択される少なくとも1つの個人情報が記載されている、請求項1に記載の医療カード。

【請求項8】 前記台紙には、さらに、前記所持者の、血液型、性別、生年月日及び国籍、並びに、当該カードの発行機関及びその連絡先から選択される少なくとも1つの情報が目視可能に記載されている、請求項1に記載の医療カード。

【請求項9】 前記台紙には、さらに、所持者の写真が配置されている、請求項1に記載の医療カード。

【請求項10】 前記フィルムには、さらに、前記所持者の医療データが陽画又は陰画で記載されている、請求項1に記載の医療カード。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人の医療情報を縮小して記録した医療カードに関する。

## 【0002】

【従来の技術】所持者の医療情報及び個人情報が縮小して記録されたフィルムを台紙に配置した医療カードが提案されている（例えば、実開昭61-102572号）。この医療カードは、また、カードの種類、所持者の1以上の個人情報を台紙に目視可能に記載している。

【0003】この従来のカードでは、台紙に記載されている個人情報は、所持者の氏名、住所、電話番号、社会保険番号等、所持者の識別に利用するいわゆる識別情報

2

であるにすぎない。このため、救急隊員又は医療関係者は、所持者（実際には、患者）のために通訳が必要か否かを判断することができない。

【0004】また、たとえ、所持者の国籍が台紙又はフィルムに記載されていたとしても、患者がその国の言語を使用可能であることにはならず、従って救急隊員又は医療関係者は、患者との会話を試みるにより、その患者が使用可能な言語（使用言語）を判断せざるをえない。このようにしたのでは、使用可能な言語の判断が遅延する。

## 【0005】

【解決しようとする課題】使用可能な言語の判断の遅延は、通訳が必要であるか否かの判断、及び、必要な場合に通訳の手配の遅れとなり、その結果患者の様態の確認が遅延し、適切な医療の判断が遅延する。それゆえに、使用言語を早期に判断することは、多くの国の人々が滞在する今日においては、救急隊員及び医療関係者にとって特に重要である。

【0006】本発明の目的は、カードの所持者が使用言語を容易にかつ早期に判断することができるようにすることにある。

## 【0007】

【解決手段、作用および効果】本発明の医療カードは、カードの種類及び所持者の氏名が目視可能に記載された台紙と、前記所持者の医療情報が縮小して記録された、前記台紙に配置されたフィルムと、該フィルムを前記台紙に固定する固定手段とを含み、少なくとも1カ国語の所持者の使用言語が目視可能に前記台紙に記録されている。

【0008】救急隊員又は医療関係者は、患者が所持する医療カードの台紙に記録されている使用言語を見るだけで、その患者が使用可能な言語を判断することができる。このように使用言語を早期に判断できると、救急隊員又は医療関係者は、その患者のために通訳が必要か否かを早期に判断し、必要な場合の手配を早期に行うことができる。

【0009】カード所持者が2カ国語以上の言語を使用できる場合、それらの言語名を台紙に目視可能に記載することが好ましい。また、前記台紙にカード所持者の血液型を目視可能に記載すれば、救急隊員は救急医療機関に輸血の準備を促すことができる。言語と血液型は、カード所持者に対して該医療機関が迅速で適切な医療を行うための利用情報である。

【0010】本発明の医療カードにおけるフィルムは、例えば、診療又は健康診断をした医療機関においてその患者の医療情報を所定の用紙に記入又は印刷し、それを写真撮影技術によりフィルムに陽画又は陰画で写し取り、そのフィルムを現像することにより作成することができる。

【0011】本発明の医療カードは、例えば、上記のよ

うに作成したフィルムを、カードの種類及び所持者の氏名が目視可能に記録された台紙に配置し、該フィルムを固定手段により台紙に固定することにより作成することができる。

【0012】このようにして作成された医療カードは、診療又は健康診断をした医療機関によって患者又は受診者に発行される。このような医療カードは、それ自体が通常サイズのカードであることから、携帯に便利であり、従って、名刺入れ、カード入れ等に収容した状態で携帯することができる。

【0013】フィルム上の医療情報は、陽画又は陰画であるが、縮小されているから、肉眼で直接読み取することはできない。しかし、拡大鏡、フィルム用投影機、フィルム透視鏡等医療機関に設置されている既存の機械器具を利用して、フィルム上のデータを読み取ることができる。従って、カード所持者のプライバシーは保護され、他方、読み取ろうとすれば、特殊な機械器具を必要としないでフィルム上の医療情報を読み取ることができる。また、救急患者の場合、救急隊員が救急車内において拡大鏡等によりフィルム上の医療情報を読み取り、その結果を待機する医療機関にいち早く伝えることができる。

【0014】通常の場合、医療機関は、患者から医療カードを受け、前回の診療又は健康診断の結果を利用することができる。また、特に、意識をなくした患者に対する救急医療を行う場合には、その患者が所持する医療カードに記録された医療情報を読み取ることにより、その患者に対する最適な治療又は応急処置を速やかに行うことができる。

【0015】このように、医療カードは、携帯に便利であり、患者のプライバシーが保護され、他方、特殊な機械器具を必要とすることなく医療情報を読み取ることができる。また、前回の医療機関においてした診療又は健康診断の結果を利用することができ、最適な救急治療又は応急処置を速やかに行うことができる。

【0016】前記固定手段は、少なくとも前記フィルムを覆う透明シート製のカバー、又は前記台紙及び前記フィルムの全体を包囲する透明シート製のカバーとすることができる。これにより、フィルムは台紙にカバーによって固定され、保護され、携帯しても損傷から守られる。また、公知のフィルム・ラミネート技術によりフィルムを保護することも、フィルムと台紙を共に保護することもできる。カードは、50～65mmの幅及び80～95mmの長さを有する長方形とすることができる。

【0017】前記台紙に長方形の開口部を切り欠き、前記フィルムを前記開口に配置することが好ましい。これにより、光をフィルムの背面から投射することにより、医療情報をより容易にかつ確実に読み取ることができる。

【0018】前記フィルムに、さらに、前記所持者の、氏名、住所、生年月日、年齢、性別、体重、身長、健康

保険証番号及び緊急連絡先を含む個人情報から選択される少なくとも1つの情報を記録することが好ましい。これにより、台紙に記された氏名とフィルムに記録された氏名との一致を確認することができる。

【0019】前記台紙に、さらに、当該カードの発行機関とその連絡先とを目視可能に記載することが好ましい。これにより、発行機関以外の医療機関等で診療又は健康診断をする場合に、前回の診療又は健康診断の詳細な結果を問い合わせることができる。

10 【0020】前記フィルムに記録された医療情報は、当該カードの所持者の、血液型、健康診断の結果及び特記事項を含む。カード所持者の性別、生年月日及び国籍のうちの1つ以上を台紙に目視可能に記載することは、カード所持者の確認に役立つ。また、所持者の写真を台紙に配置することは、所持者の確認に役立つ。

【0021】

【発明の実施の形態】図1～図3を参照するに、医療カード10は、長方形の台紙12と、長方形のフィルム14と、台紙12及びフィルム14をサンドウィッチ状に一体的に被覆する透明な合成樹脂製の薄いシートからなるカバー16とを含む。

【0022】医療カード10は全体的に長方形であり、その大きさは通常のクレジットカードとほぼ同じ大きさである。台紙12は長方形の穴すなわち開口18を有し、フィルム14は開口18内に配置されている。カバー16は、フィルム14を台紙12に固定する手段である。

【0023】図1に示すように、台紙12の表面には、医療カード10であることを示す文字20と、適当なシンボルマーク22と、患者又は当該カードの所持者の氏名24、性別26、カードの記号番号28と、当該カードの作成年月日30とが、その他の必要な文字32と共に、印刷により目視可能に記載されている。

【0024】シンボルマーク22に代えて、カード所持者の写真(図示せず)を配置することにより、カード所持者が正当な所持者であることを迅速に確認することができる。また、性別26に加えて、又はこれに代えて、カード所持者の血液型を記載することにより、カード所持者の血液型を迅速に確認することができる。さらに、カードの作成日に加えて、又はこれに代えて、カード所持者の生年月日又は国籍を記載することが、医師の対応を円滑にするために好ましい。

【0025】図3に示すように、台紙12の裏面には、当該カードを作成した医療機関34の名称と、問い合わせ先36とが、任意な説明文38、40等と共に印刷により目視可能に記載されている。

【0026】所持者が使用可能な言語42は、図示の例では、紙12の裏面に目視可能にその言語名として記載されているが、台紙12の表面に記載してもよい。また、図示の例では、1つの使用言語42を記載している

にすぎないが、カード所持者が2カ国語以上の言語を使用できる場合、それら複数の言語名を台紙に目視可能に記載することが好ましい。

【0027】フィルム14は、図4に示すように、当該カードの所持者の医療情報44と個人情報46とを縮小して陽画又は陰画で記録したマイクロフィルムである。しかし、フィルム14は、上記の両情報を縮小しないで記録した通常の陽画又は陰画フィルムであってもよい。

【0028】図4に示す例では、医療情報44は、当該カードの所持者の血液型、アレルギーの有無、担当医療機関、健康診断の結果、持病、使用中の補助器具、現在又は過去の病気及び所持者に関する特記事項を含む。担当医療機関については、その名称、電話番号及び担当医の氏名を含む。

【0029】個人情報46は、所持者の、氏名、住所、生年月日、年齢、性別、体重、身長、健康保険証番号、献血手帳の番号、国籍、パスポート番号、緊急連絡先等を含む。緊急連絡先欄は、その名称又は氏名、電話番号、及び本人との関係を含む。

【0030】図4に示す例では、医療情報44及び個人情報46の記載欄が空欄になっているが、実際には当該カードの所持者に応じた医療情報44及び個人情報46が記録されている。

【0031】台紙12に目視可能に記録する情報20～42及びフィルム14に縮小して記録する情報44、46は、必要に応じて、増減又は変更することができる。台紙12に目視可能に記録する情報20～42は、日本語のような単一の言語だけであってもよいし、日本語、英語、フランス語、ドイツ語等から選択される2以上の言語であってもよい。特に、所持者の氏名は、日本語とローマ字との組み合わせ、所持者の母国語名と称呼に従ったカタカナとの組み合わせのような組み合わせとすることが好ましい。

【0032】フィルム14は、例えば、診療行為を行った医療機関において所定の医療情報及び個人情報を所定の用紙に記入又は印刷し、それをマイクロフィルム作成技術による写真撮影によりフィルムに写し取り、そのフィルムを現像することにより、作成することができる。

【0033】医療カード10は、例えば、上記のように作成したフィルム14を、図1及び図3に示す情報20～42が目視可能に記録された台紙12の開口18内に配置し、その状態で、台紙12とフィルムと14とを透明な合成樹脂製の薄いシートでサンドウィッチ状に挟み、その状態でシートを光、熱等により台紙12とフィルム14とに加圧接着すると共に、シートの縁部を光、熱等により互に加圧接着することにより、作成することができる。

【0034】このようにして作成された医療カード10は、診療をした医療機関において、患者に渡される。医療カード10は、それ自体がカードであることから携帯

に便利であり、また、フィルム14がカバー16により保護されていることから携帯に耐えることができる。従って、患者は、医療カード10を、名刺入れ、カード入れ等のケースに収容した状態で携帯することができる。医療カード10による収容ケース等の損傷を防止するために、カード10の各隅部は円弧状にすることが好ましい。

【0035】フィルム14上の情報は、縮小されているから、肉眼で直接読み取ることはできない。しかし、拡大鏡、フィルム用投影機、フィルム透視鏡等、医療機関等に用意又は設置されている既存の機械器具を利用して、フィルム14上の情報を読み取ることができる。従って、カード所持者のプライバシーは保護される。他方、読み取ろうとすれば特殊な機械器具を必要とすることなく、フィルム14上の情報を読み取ることができる。

【0036】救急患者の場合、救急隊員が救急車内において拡大鏡等によりフィルム14上の情報を読み取り、その情報を患者の使用言語とともに医療機関に対してそこへの到着前に伝えることができる。これにより、知らせを受けた医療機関においては、伝達された使用言語から、通訳が必要であるか否かを判断し、必要な場合にその手配を速やかに行うことができるし、伝達された情報を基に、適切な緊急医療を行うための準備をすることができる。

【0037】通常、医療機関においては、医療カード10を受け、そのフィルム14に記録されている医療情報及び個人情報を読み取ることにより、前回の診療又は健康診断の結果を利用することができ、また読み取った個人情報に基づき患者が医療カードの正当な所持者であることを確認することができる。

【0038】また、特に、意識をなくした患者に対する救急医療を行う場合には、その医療カードに記録された医療情報及び個人情報を読み取ることにより、その患者に対する最適な治療又は応急処置を速やかに行うことができる。

【0039】フィルム14上の情報の読み取りに際しては、光をフィルム14の背面に投射することが好ましい。これにより、フィルム14上の情報の読み取りが容易になり、フィルム14上の情報を正確に読み取ることができる。

【0040】フィルム14は、図示の例のように台紙12の開口18より小さくてもよいし、大きくてもよい。フィルム14が台紙12の開口18より大きい場合、光をフィルムの背面に投射することができるように、フィルム14上の情報記録部分の大きさを台紙12の開口18より小さくし、その情報記録部分が台紙12の開口と整列するように、フィルムを配置することが好ましい。

【0041】台紙12に開口18を形成することなく、フィルム14を台紙12の表面に配置してもよい。この

7

場合、フィルム上の情報の読み取りを容易にすべく、台紙12のフィルム配置箇所を白色のような高明度の色彩にすることが好ましい。

【0042】医療カードは、仕上がり寸法で、50～65mmの幅と、80～95mmの長さとを有する長方形、好ましくは50～55mmの幅と、80～85mmの長さとを有する長方形である。しかし、より好ましくは、医療カード10は、定期券、テレホンカード、銀行カード、クレジットカード等、通常の各種のカードと同じ大きさである。

【0043】台紙12とフィルム14とをカバー16によりサンドウィッチ状に挟むことにより、フィルム14を台紙12に固定する代わりに、接着剤等によりフィルム14を台紙12に固定してもよいし、フィルム14をやや大きい透明のシートでフィルム14を覆い、該シートを台紙12に直接接着することにより、フィルム14を台紙12に固定してもよい。

【0044】上記のように、台紙12に記録された使用言語42は、所持者すなわち患者が使用可能な言語であり、所持者の、住所、氏名、生年月日、年齢、連絡先、国籍等の個人情報、特に識別情報とは異なる。そのような使用言語42が目視可能に記載された医療カード10によれば、救急隊員又は医療関係者は、患者が所持する医療カードの台紙に記録されている使用言語を見るだけで、その患者が使用可能な言語を判断することができ、その結果救急隊員又は医療関係者は、その患者のために

8

通訳が必要か否かを早期に判断し、必要な場合の手配を早期に行うことができる。

【0045】また、カード所持者の血液型を使用言語とともに台紙に目視可能に記載すれば、救急隊員は救急医療機関に輸血の準備を促すことができる。言語と血液型は、カード所持者に対して該医療機関が迅速で適切な医療を行うための重要な利用情報として用いられる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る医療カードの一実施例を示す表面図である。

【図2】図1の2-2線に沿って得た拡大断面図である。

【図3】図1に示す医療カードの拡大背面図である。

【図4】フィルムに記録される情報の記録フォーマットの一例を示す図である。

【符号の説明】

10 医療カード

12 台紙

14 フィルム

20 16 カバー

18 開口

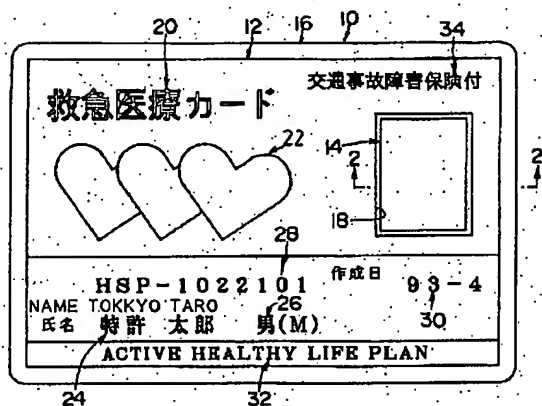
20～40 台紙に目視可能に記録された情報

42 所持者が使用可能な言語

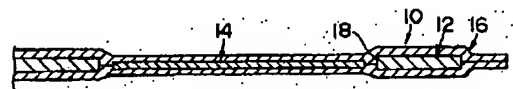
44 医療情報

46 個人情報

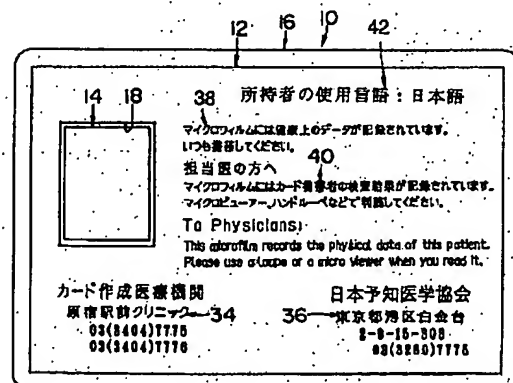
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

## LIFE CARD

## 1. PERSONAL INFORMATION

Name	Date of Birth	Age	Sex
氏名	生年月日 年 月 日	Weight	Height
Address			
現住所 ( )			
Nationality	Passport No.	Health Insurance No.	Medical Card No.

## 2. PARTIES TO NOTIFIED IN CASE OF EMERGENCY. 緊急時の連絡先

Name	Relation	Parent, Spouse, Child, Relatives, Friend, Office
連絡先 ( )	本人との関係	両親 配偶者 子供 近親者 友人 勤務先

## 3. MEDICAL INFORMATION

Blood Type	Rh+ Rh-	A B AB O	Allergic Reaction	YES NO
Name	Address		Phone No.	
主治医	病院名	電話	担当医	
GOT	ALP	BUN	HBs	
GPT	ChE	Cr	Adf. Ab( )	
r-GT	FBS	UA		
Diabetes 糖尿病	Asthma 喘息	Paracetamol User パセーカール使用		
Insulin 使用中	High Blood Pressure 高血圧	Pregnancy 妊娠中		
無口呼吸器使用	Paralysis 麻痺	Epilepsy てんかん発作		
Wear Hearing Aid 補聴器	Eye Prosthesis 義眼	Contact Lens User コンタクト使用		
Denture 義歯				
Special Comments 特記事項				